

272号 2023年

7月27日

発行所 **岡山大学職員組合**

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1 電 話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ https://odunion.jp

メールアドレス info@odunion.jp

目次: 1:定期大会報告、役員一覧 2:委員長あいさつ 3~4:新執行委員紹介 5~6:2023年度活動方針

7:コンプライアンスに関する質問書の回答お知らせ 8:旅日記

6/21 2023 年度定期大会を開催しました



2023年6月21日(水)午後6時より7時40分まで、2023年度定期大会が開催されました。今年も新型コロナウイルス対策と代議員の参加しやすさを考えて、Web会議システムを用いての開催でした。出席者は30名でした。

駄田井副委員長の開会宣言、五十嵐副委員長の 資格審査報告の後、難波氏と桑原氏が議長に選出 され、議事が進行していきました。

荻野委員長の挨拶の後、第1号議案(2022年 度活動経過報告) が藤原書記長によって提案され ました。2022年度の活動として、まず学長選に際 し、槙野学長体制の評価アンケート、候補者への 質問状とその回答の公開、新学長への要望アンケ ートを行ったことが報告されました。そのほかの 活動としては、入試手当改善への取り組み、勤務 評価についての団体交渉などが挙げられました。 また、有期雇用職員、非常勤講師の待遇改善に関 する取り組み、事務手続きの簡素化、在宅勤務の 柔軟な活用などに向けての取り組み、附属学園や グッドジョブセンターなどの労働環境改善の取 り組みが報告されました。また今年度も多くの個 別相談に対応し、2回の団体交渉、6本の要求書 及び要望書質問書を提出、加えて人事課との事務 レベルの懇談会を3回行い、意見交換をしたこと



が報告されました。組合だよりは 10 回発行されたと報告されました。

その後、戸前副委員長による第2号議案(2022年度決算報告、特別会計決算報告)、足立委員による会計監査報告、藤原書記長による第3号議案(2023年度活動方針)、戸前副委員長による第4号議案(2023年度予算案)が提案されました。

全ての議案が承認された後、2023年度の役員選挙がオンラインで行われました。立候補者全員が承認された後、委員長高岡敦史氏の挨拶がありました。

その後、議長が解任され、笹倉副委員長による 閉会の辞で、定期大会は終了しました。

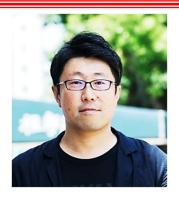
			役員一覧	
執行委員長	高岡 敦史	(教育学部)		
副委員長	荻野 勝	(教育推進機構)	五十嵐 潤美 (教育推進機構)	上森 武 (工学部)
	駄田井 久	(農学部)	味野 道信 (理学部)	是近 成子 (教育推進機構)
書記長	藤原 貴生	(理学部)		
執行委員	岸田 研作	(法文経)	廣田 陽子 (法文経)	齋藤 武(教育学部)
	尾島 卓	(教育学部)	小汐 由介 (理学部)	荒川 健佑(農学部)
	米本 知芙	(附属学園)	日向 洋介 (附属学園)	大杉 博幸(総合技術部)
	矢田 範夫	(医学部)		
会計監査委員	戸前 壽夫	(法文経)	中村 有里(工学部)	
選挙管理委員	前田 恵	(農学部)	丹治 敬之(教育学部)	

委員長あいさつ「岡山大学職員組合のこれからについて」 執行委員長 高岡敦史



連合体執行委員長を 拝命致しました学術研 究院教育学域准教授の 高岡敦史です。

2009 年にスポーツ 教育センター(当時) に着任した後、2014 年 から教育学研究科に着 任し現在に至ります。 職員組合には 2014 年



当初から加入していますが、教育学部職員組合で 1年間書記長を、そして連合体で1年間副執行委 員長をしただけの「新参者」です。

副執行委員長としての一年間、荻野委員長や笹 倉副委員長や藤原書記長の言葉や行動を拝見し、 組合の存在意義と機能、岡山大学における大学経 営側と組合との関係性について学ばせて頂きま した。今後も基本的にはその考え方を踏襲し、主 張すべきことはしっかりと主張して参りたいと 思います。

一方、スポーツ経営学者として大学の組織と経営のあり方について考えることもあります。職員組合は、教職員が誰ひとり取り残されることなく、各々のワークライフバランスを最適化し、仕事のパフォーマンスを高められる職場環境をつくるための運動体です。しかし、教職員一人ひとりの中には、自らの仕事と職場である岡山大学に対する思いと知が、職員組合によって拾い上げられる以上に満ちているはずです。職員組合は、より多くの教職員の思いと知を集積し、それをエネルギー源にして大学経営にインパクトを与える役割を果たすことができるのではないでしょうか。私たちは、これまで以上に建設的かつ積極的に動けるはずだと考えています。

これから大切にしたいキーワードは、**「コレク ティブ・インパクト」**と**「共創」**です。

岡山大学職員組合は、多くの教職員の思いと知 を集積するどころか、組合員数の減少という課題 に直面しています。組合の影響力と組合員数は相 互依存関係にありますが、影響力を高めることで、 思いと知が大学経営にインストールされるとい う事実の蓄積から組合加入動機を高めたいと考 えています。

こうした考えから、次のような職員組合を目指 したいと思います。

■ 教職員のアイディアを集積・活用する職員組合

教職員としての働きがいとパフォーマンスを 高める(ディーセント・ワークの実現) ための思 いと知を集めたいと思います。

そして、集まったアイディアを連合体として検討・総合し、大学執行部(全学執行部および各部局執行部)に対して、『岡大教職員プロポーザル』 (仮称)という形で届けます。

したたかな交渉力のある職員組合

働きやすさと大学・部局のパフォーマンスの向上を両立させるというポジティブ・ビジョンを大学執行部と共有し、これまで以上の交渉力を備えたいと思います。『岡大教職員プロポーザル』はそのための重要なカードになるはずです。

共創力のある職員組合

大学執行部とビジョンを共有し、『岡大教職員 プロポーザル』を大学経営にインストールするた めに、執行部と対立するのではなく、共創してい きます。大学執行部が抱える経営課題に対して、 職員組合も解決に寄与できるはずです。

地域に開かれた職員組合

大学は地域社会とのエンゲージメントを高めることが求められています。地域の様々な職場にある組合組織と本学職員組合が「働きやすい職場づくり」という共通課題で繋がり、交流チャンネルのひとつになれれば、組合運動もエネルギッシュになるはずですし、大学のコミュニティ・エンゲージメントも高まるでしょう。

また、岡山県内他大学の職員組合との交流も未整備です。「大学・研究機関労働組合協議会」(仮称)の設立を目指し、相互の連携を図っていきたいと思います。

連合体運営の効率化

組合員数の減少という課題を抱える現状にお

いて、これまで同様の 連合体運営は難しい と言わざるを得ませ ん。限界のあるリソー スでも持続可能な可 営を考えていきたい と思います。



副委員長 味野道信(理学部単組)

今年度、副委員長を担当する事になりました。岡大への赴任と同時に教職員組合に加入したのが30年ほど前になります。講座の教授・助教授の先生から組合の簡単な説明を受け、当たり前のように加入しました。当時は研究分野の異なる教職員との交流等が主たる活動でしたが、現在は大学内外の環境が大きく変わり、組合の活動内容も多様化複雑化していると思います。そのため、外から組合のことが分かりにくくなり、必要性が増しているのに敬遠される矛盾が生じています。多様性を実現するには互いの理解からだと思いますので、先ずは組合活動の内容や成果を少しでも大学内へ伝えたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



副委員長 上森 武(工学部単組)

今年度、副委員長を務めることになりました。前副委員長のお一人、笹倉先生のご活躍はみなさまご存じの通り、岡山大学の職場環境改善に大きく貢献されておりました。それをずっと傍らで見てきただけの小職は明らかに非力であり、笹倉先生をはじめとする過去の副委員長の何分の1、いや、何万分の1の力、そもそも力は無く、0かも知れません。そんな小職ですが、工学部のみならず全学の教職員みなさまからのご支援・ご助力・叱咤激励を頂くことで、力を倍増できればと考えています。先ずは普段の困り事の解決や快適な職場環境づくりなど、岡山大学が抱えている問題をできることから少しずつ行っていきたいと考えています(お困り事があればお声がけ下さい!相談にNGワードはありません)。今後ともよろしくお願い申し上げます。



副委員長 是近成子(教育推進機構)

今年度から執行委員会に参加させていただきます是近成子と申します。岡山大学の一般教養で非常勤講師を 20 年以上勤めております。英文学の中でもシェイクスピア研究を専門にしています。非常勤講師としては初めての執行副委員ということで、今後の非常勤講師の方々の待遇改善に貢献できることを願っております。私にできることが何かあるのか、皆目分からない状態での参加ではあります。皆様との活動を通して考え、実践していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



●●●●●●●●●●● 新執行委員 自己紹介 ●●●●●●●●●

法文経単組 岸田研作

法文経単組の執行委員長を務めることとなりました。役員の仕事は3回目で、最初は2011年で単組の会計、2回目は単組のレクと副委員長を務めました。この度、執行委員長を務めることになったことをきっかけに、改めて組合の意義や組合が現在の力量でできることについて考えるようになりました。研究時間の捻出にあくせくする日々の中でできることは限られていますが、大学執行部による学部自治への理不尽な介入など、働く者のモチベーションを下げる行為を歯止めする活動ができればと思います。

理学部単組 小汐由介

2023年度、理学部単組の執行委員長を務めさせていただくことになりました小汐と申します。理

学部では物理学科に所属し、素粒子・宇宙物理学を専門としています。また今年度より改組された環境生命自然科学研究学域に所属し、大学院学生の教育にも携わっています。ようやくコロナ禍もあけつつあり、組合の活動も増えていくことと思います。そのような時期に大役を仰せつかり、身が引き締まる思いです。微力ではありますが、教育や研究の環境向上に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

農学部単組 荒川健佑

2023 年度の農学部単組の書記長を務めることになりました荒川健佑と申します。2021 年度も同職を務めまして、2 年ぶりの復帰となります。農学部単組は、熱心に活動されていた方々が立て続けに定年退職され、一方で若手はあまり入会し

ないことから、組織率が急激に低下し、岐路に立たされています。そのような厳しい状況の中で重責を担うことに少なからずプレッシャーを感じてはおりますが、適正かつ快適な職場環境の構築や待遇改善に向けて、少しでもお役に立てるように努めて参りますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

附属学園単組 米本知芙

今年度、附属学園単組の執行委員長を務めさせて いただきます、附属小学校の米本知芙です。

附属小学校に着任して5年目となりました。音楽科を担当しております。この職場で働けてよかったと思える人が一人でも増えるように、自分の役割を果たせるよう努力していきます。今年度、どうぞよろしくお願いいたします。

教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります! 一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使 交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労 働条件を実現していくことができます。

主な活動

団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、講演会、学習会の開催、レクリエーション活動、 コーラスサークルなど

附属学園単組 日向洋平

今年度、附属学園単組の副執行委員長を務めさせていただきます、附属中学校の日向洋平です。 附属中学校に着任して3年目となりました。技術科を担当しています。日々の校務と例年の教育実習に加え、本年度は研究発表も有って忙しい日々ですが、組合のお手伝いもできる限り頑張ろうと思います。働きやすい職場に成れるように、この職場でよかったと思える人が1人でも増えるように、広めていきます。今年度どうぞよろしくお願いいたします。

あなたも組合の仲間になりませんか?





教員の方も、事務職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。加入申し込みは、各単組役員、もしくは上のQRコードからどうぞ。 メールは、info@odunion.jpまで。



基盤的経費の減少・不安定化の

影響アンケート

【実施期間】 2023年 6月15日~8月15日



左記のQRコード、または下記のURLよりアクセスしてください https://zendaikyo.or.jp/?page_id=996

国立大学等の運営費交付金については、総額はここ数年横ばいが続いていますが、その内容をみると業績連動的な部分が増加し、教職員の人件費等に使える基盤的な部分は減少・不安定化してきています。そのため大学等の運営は大変厳しい状況となっており、教員からは「研究費が足りない」「人員が足りない」といった声が聞かれます。また、教育研究の高度化や最近のインフレ傾向のなかで教育研究に必要な経費は年々増加しています。

そこで、教員の教育研究環境に焦点を当てて、どのような影響が生じているのかを調べることを目的に本アンケートを実施します。本アンケートで得られた回答は、全大教が行う文科省や財務省への要請、全大教の会議等のイベントなどで活用いたします。アンケートでは個人を特定することの可能な情報は収集せず、自由記述についても個人を特定することがない形でとりまとめて利用いたします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

~吉備路文学館を訪ねて~

梅雨の晴れ間、「吉備路文学館」を訪ね、開催されていた特別展「吉備路の文学者と原稿展」(2023/6/4~9/3)を観ました。内田百閒、坪田譲治、木山捷平、吉行淳之介、小川洋子などの直筆原稿や校正原稿、ワープロ原稿に、その方々の人柄に触れたような気持ちになりました。小川洋子の「博士の愛した数式」は感動し友達に勧めた本で、懐かしさとほのぼの感を思い出しました。筆記用具や原稿用紙などの展示もあり、静かな空間で、文学者たちの筆跡に触れた静かなひとときに心癒されました。

「吉備路文学館」は、吉備路ゆかりの文学者に関する様々な文学資料が収集・保存されています。 庭には睡蓮が咲き、しっとりとした趣きがあります。何度でも足を運びたくなりました。お時間がお ありのときに、行かれてみてはいかがでしょうか? (岡本・藤澤)

2023年度活動方針

はじめに

岡山大学職員組合(連合体)は、今年度も「7つの柱」を堅持して活動していきます。

- 1. 「大学の自治」の一員として、大学の民主的運営に資するよう努めます。
- 2.「学問の自由」の擁護者として、快適な研究・教育環境づくりに貢献します。
- 3.「働く者の権利」の擁護者として、労働条件の改善に努めます。
- 4. 「人権委員会 (ユニオン)」を組織し、ハラスメント問題などの人権侵害と取り組む組合員を支援します。
- 5. 学習会や文化サークルなどを組織・支援し、組 合員の文化的要求に応え、仲間づくりを支援し ます。
- 6. 平和・人権・民主主義を柱とする日本国憲法の 精神を大切にし、それが大学内において活かさ れるように努力します。
- 7. 組合は、上記の立場から新しい大学づくりに積極的に参加します。

(1) 大学の自治の担い手として

上述の状況を踏まえ、岡山大学職員組合は次のような活動に取り組みます。

- ① 岡山大学、そして日本の大学が置かれている状況を分析し、大学改革のあり方について大学に提言できるよう、組合員とともに検討します。
- ② 政府の進める大学改革に細心の注意を払いつつ、 岡山大学におけるガバナンス改革を分析し、見解 を表明します。
- ③ 各単組を通じて、必要に応じてアンケート調査に よって大学運営に関する組合員の声を収集し、大 学当局に伝える役割を果たします。
- ④ 団体交渉に加えて、学長との懇談会などを持ち、 職組として大学運営に対する提言を行います。
- ⑤ 全国の大学運営の改善のために、全大教とも協力 して政府や社会に対して必要な働きかけを行い ます。

(2) 労働条件の改善

労働条件の改善に取り組み、働きがいのある、働きやすい職場づくりに取り組みます。

- ① 組合員の要求にもとづいて労働条件の改善を実現するための団体交渉を行います。必要に応じて、人事課との予備交渉にも取り組みます。また、非公式の情報交換の場として人事課との懇談会を2ヵ月に1回程度の頻度で行い、団体交渉での交渉内容の充実を図ります。
- ② 昨今の経済状況に鑑み、賃金アップに取り組みます。

- ③ 事務作業の簡略化を図り、業務を効率化する活動 に取り組みます。
- ④ 引き続き年俸制の非合理的部分について批判を 行い、より良い制度となるよう努力します。また、 新規採用者に強制されている年俸制を自由意思 による選択制とするよう求めます。
- ⑤ 基盤的研究費確保の要求等、教員の研究環境の 改善に取り組みます。
- ⑥ 厳しい労働環境におかれている病院教職員の労働条件改善に取り組みます。
- ⑦ 過重な労働環境におかれている附属学校園教員 の労働条件改善に取り組みます。
- ⑧ 有期雇用職員の無期雇用転換のさらなる促進、正規職員への登用機会の拡大、時給改善などに取り組みます。雇用期限5年を迎える有期雇用職員・特別契約職員が一人でも多く働き続けられるよう運動します。
- ⑨ サービス残業やパワハラの根絶、男女共同参画への取り組みなど、働きやすい職場をつくるために努力します。
- ⑩ 職員代表委員と積極的に連携をとりながら労働 条件の改善に取り組みます。職員代表委員会の情報公開を促し、広報に努めます。
- ① 新型コロナウイルス感染症拡大対策による労働 環境の変化において、教職員に過重な労働や不利 益などが生じないよう取り組みます。
- ② 教教分離や技術職員の組織化が労働環境の悪化 に繋がらないよう、先行する他大学の情報等を参 考にして取り組みます。

(3) 組合員の拡大

岡山大学の自治の担い手として力を発揮し、大学 当局との交渉力を高めるために、未加入教職員へ加 入をさらに働きかけ、組織拡大に取り組みます。

- ① 「組合リーフレット」と「組合だより」を活用して組合活動の成果と魅力と意義を広報し、誰もが参加でき「参加して楽しい組合」像、「みんなの役に立つ組合」像の周知に取り組みます。
- ② 組合員拡大キャンペーンを実施して集中的に組合員の拡大に取り組みます。
- ③ 単組による組合員拡大を支援します。
- ④ 病院職員、事務・技術系職員、有期雇用職員の組合加入の拡大に意識的に取り組みます。
- ⑤ 少なくとも同一対象者に、5回は声かけを行いま す。30名の新規加入をめざします。
- ⑥ Web フォーム等のオンラインサービスも活用して、組織拡大を強化していきます。
- ⑦ 教職員共済生協や労働金庫の広報やキャンペーンを効果的に取り入れて勧誘活動を行います。
- ⑧ 組合員の拡大のために、岡山大学職員組合の将来

ビジョンを明確にし、組合員間で共有する活動を 行います。

(4) 組合の組織・体制強化

組合活動において一人一人の組合員が存分に力を 発揮できるよう、かといって負担が大きくなりすぎ ないようにするために、組織・体制を強化します。

- ① 三役の役割分担を明確にして、責任を持って活動を遂行できる執行部を確立します。執行委員会は原則として毎月開催し、連合体の活動について協議するとともに、大学改革について学習・討論する時間も確保します。
- ② 単組の独自性を尊重しつつ、各単組・各階層の利害・意見を調整し、協調して大学当局と交渉できるようにします。
- ③ 各単組の活動を財政面も含めて支援し、各単組の組織力・交渉力の強化を支援します。
- ④ 各単組と連合体との関係について検討します。
- ⑤ 未組織部局教職員の連合体への個人参加を呼び かけるとともに、事務系組合員の組織体制につい て検討します。
- ⑥ 連合体直接加入の組合員から代議員と執行委員 を選出するための準備をします。

(5) 人権部と法律相談所

組合員の生活と権利が脅かされています。こうした状況の中で頼りになる組合になるために、人権部と法律相談所「ユニオン」をさらに充実させていきます。

- ① 広報を充実させ、利用しやすい仕組みを確立していきます。
- ② 教職員の権利をめぐる相談の窓口となる人権部 の機能を充実させます。
- ③ 団体交渉の力を強化するため、非常勤職員問題など組合活動についても法律的な根拠について法律相談所「ユニオン」に相談し、組合と法律相談所「ユニオン」との協働を図ります。

(6) 広報活動

団体交渉などの組合活動の状況や岡山大学をはじめ全国の大学の状況、文科省の大学政策など、わかりやすく広報します。

- ① タイムリーな内容で読みやすい「組合だより」を 編集し毎月発行を目指します。
- ② 「組合だより」を発行後すみやかに、全組合員へ 配布できるよう各単組に協力を求めます。
- ③ ホームページの充実に取り組みます。
- ④ 組合や全大教からのニュース等を直接メールで 送付するサービスへの参加者を増やします。
- ⑤ 国立大学がおかれている状況を広く社会やマスコミに発信し、一人でも多くの人に大学の現状を理解してもらうよう努めます。

(7) 文化・学習会・レクリエーション活動

格差が広がり、偏見が横行し、社会はますます生

きづらい状況になっています。このような分断にあらがうことが組合の使命だと考えます。組合が魅力的なコミュニティとなることが、大学構成員にとっても、社会にとってもますます重要となっています。そこで、組合員のリフレッシュと組合員同士の親睦を図ります。

- ① 連合体として組合員の親睦を図るレクリエーション活動に取り組みます。
- ② 各単組の文化・学習会・レクリエーション活動に 協賛し、その成功・充実に貢献します。
- ③ 職場・職種を越えた交流の場であり、コミュニティの絆となる組合合唱団を支援します。
- ④ 組合員が文化活動に参加する機会を充実させる ため、演劇・映画・講演会等の参加費補助を行い ます。
- ⑤ オンラインを活用したレクリエーションにも取り組みます。

(8) 平和と民主主義の取り組み

平和・人権・民主主義を柱とする日本国憲法の精神を組合活動の基礎に置き、これを実現するための 諸活動に取り組みます。

- ① これまでも構成メンバーとして参加してきた「憲 法のつどい岡山実行委員会」「『建国記念の日』問 題連絡協議会」に可能な範囲で協力していきます。
- ② その他の学内外の平和と民主主義の実現に取り 組む活動について、協力の依頼があれば執行委員 会で協議し、可能な範囲で協力していきます。

(9) 全大教と中四協等の連携

団体交渉を進めるために不可欠な文科省の大学政策や他大学での団体交渉の状況などの情報を収集するためにも、そして、文科省の大学政策に対する提案を行うためにも、国立大学法人・高等専門学校の職員組合の全国組織である全大教との連携強化を図ります。

- ① 全大教との関係を維持し、報告・連絡・相談を密にし、情報収集を行います。
- ② 全大教の開催する会議・教研集会等へ参加します。
- ③ 全国、とりわけ中四国地区の大学職員組合との連携を強め、親睦を図ります。
- ④ 全大教病院協議会との連携・協働を図ります。
- ⑤ 全大教を通じて、大学政策の改善に向けて政府や 文科省への働きかけを強化します。

(10) その他

- ① 事務所の活用促進
 - 事務所を充実し、各単組の活動を支援します。
- ② 教職員共済の取り組み

教職員共済のパンフレットなどを配布し、広報 活動を行い、加入促進を図ります。また共済説 明会を開催し、現職者向けや退職予定者向けの 個人相談会も開催します。

コンプライアンスに関する質問書に回答が届きましたのでお知らせします

令和5年6月9日

岡山大学職員組合執行委員長 殿 理事(企画・評価・総務担当) 三 村 由香里

コンプライアンスに関する質問書(回答)

2023年5月11日付け岡大職組申第184号の 質問書について、下記のとおり回答しますので、よろし くお願いします。

記

(質問事項)

1. 岡山大学病院における不正経理問題

2015年(平成27年)3月期の会計処理で不適切な処理があったことについて、岡山大学はその原因は「治験等の受託研究終了後に生じた残額の取扱いに関するルールが明確に定められていなかったこと、治験経費を含む民間からの受託研究費の直接経費の使途等は公的研究費とは異なり、学内規定及び相手方との契約によって決定するものであるが、本学ではそれに対応する規定が存在していなかったこと」などであると公表しています。

https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumupdf/kaikeishorih27taiou.pdf

またその対策として 2023 年 2 月に岡山大学共同研究 取扱規程を改正しています。

- (1) 今回、ルールが明確に定められていなかったために 不正な経理が行われたとのことですが、ルールが明 確でないということが当時の経理処理の過程で担当 者の間では明確に認識されていたかどうかについて 教えてください。
- (2) 「本事案の関係者について必要な処分を行いました」とありますが、この経理処理に関わったどのレベルの関係者がどの程度の処分を受けたのかを明らかにしてください。また、その処分がどのような規定に基づいて行われたのかを明らかにしてください。
- (3) 今回、受託研究終了後に生じた残額の取扱いについては規定が整備されましたが、一般に岡山大学においてルールが明確でない時の経費の処理はどのようなプロセスで行われるのでしょうか。その場合の最終責任者はどなたになるのでしょうか。教えてください。

(質問事項1.(1)についての回答)

当時の担当者の間では明確に認識されていませんで した。

(質問事項1.(2)についての回答)

本事案については、国立大学法人岡山大学職員就業規則第69条に基づく処分を行いましたが、国立大学法人岡山大学における懲戒処分等の公表基準により、処分の量定が公表の対象とするものではないため公表しておりません。

(質問事項1.(3)についての回答)

一般に、経理の処理のルールが明確でない時は、経理 の責任者及び関係者で協議を実施し、責任者が一定の ルールを定め、そのルールに従って経理の処理を行い ます。また、最終責任者は学長となります。

(質問事項)

11. コロナ給付金過大受給問題

2023年3月15日のKSB瀬戸内放送によりますと、岡山大学病院が新型コロナ関連の補助金を17億8000万円あまり過大に受給していたとのことです。その原因について岡山大学は「事務部門の認識の誤り」と説明していると報道されました。

- (1) 原因が「事務部門の認識の誤り」ということですが、その認識の誤りが岡山大学内で訂正されずにそのまま補助金請求となった経緯を詳しく教えてください。
- (2) この件について、なんらかの処分が行われたのかどうか、処分が行われたとすればどのような規定に基づいてどの程度の処分がどの役職に対して行われたのかを教えてください。
- (3) このようなミスが発生するのは、事務職員の業務が 過重であることや頻繁な人事異動によって専門性が 培われていないことが一因であるとの意見が組合に 寄せられています。その点についての大学の見解を 教えてください。
- (4) 再発防止のために岡山大学が講じた対策について 教えてください。組合は、教職員の労働強化となら ず、効果的で適切な対策を望みます。

(質問事項Ⅱ(1)についての回答)

病床確保料の取り扱いについては、令和2年6月発出の厚生労働省からの事務連絡にて、受理当時は通知内容の詳細を確認し、令和2年9月及び12月に補助金申請を行いました。令和3年1月に東病棟5階をが、令和3年3月の令和2年度病床確保料の申請の際、専用病棟化した場合の休止病床の取扱い(令和2年6月発出事務連絡)については認識することができず、何等疑うことなく即応病床と同じ HCU 単価を適用しては事金申請を行いました。また、令和2年9月、令和3年4月及び令和4年4月にも厚生労働省から関連する通知が発出されており、令和3年12月発出の事務的発出されており、令和3年12月発出の事務的が発出されており、令和3年12月発出の事務的が発出されていましたが、頻回にわたる制度の改正点ばかりに対していたため、当初からの事務的な誤りに気付くことができていませんでした。

(質問事項Ⅱ(2)についての回答)

本事案については、国立大学法人岡山大学職員就業 規則第69条に基づく処分はありません。

(質問事項Ⅱ、(3)についての回答)

「岡山大学事務職員人事異動の基本方針」に基づき、若手職員、中堅・ベテラン職員に関わらず、経理担当者(業者対応業務、現金を取扱う業務等)は、コンプライアンス確保のため、原則として3年で人事異動させることとしています。また、すべての職員を対象に公的研究費等の不正使用防止に係るコンプライアンス教育を行っているほか、中国・四国地区国立大学法人等財務会計事務研修及び政府関係法人会計事務職員研修等に事務職員を派遣し、財務会計分野の人材育成を図っています。

(質問事項 Ⅱ.(4)についての回答)

本事案に鑑み、次の3点を実施して事務部門におけるチェック体制を整備・強化し、今後の再発防止に繋げることとしました。

- (1)国及び岡山県からの各種関連通知・Q&Aについては従来から複数人で内容を精査していたが、今回の重大事案を踏まえ今後は更に確認者を増員して管理体制を強化する。
- (2) 解釈上の疑問点等については関係省庁等に直接 確認することとし、その結果は関係者間で共有して、 共通理解が得られた後に申請等を行う。
- (3)申請書等の決裁過程においても、異なる視点から の詳細な精査が行えるように他の担当を交えた確認 体制を導入し、それをスタンダードな形式として確 立する。

以上

ローカル線で行く!フーテン旅行記 第98回 11 年越しの復旧! 只見線

工学部職員組合 大西孝

ローカル線の存続が厳しいという話題が全国 から聞こえてきます。コロナ禍による減収が鉄道 会社の経営を圧迫しているためです。こんなご時 世ですが、全国で最も運行本数が少ない路線の一 つである只見(ただみ)線が、災害による長い運 休から復旧しました。只見線は沿線風景の美しさ が全国屈指のものとされる一方、利用しにくいこ とでも有名です。どんな路線なのか、興味の湧く ところです。只見線は新潟県魚沼市の小出(こい で)駅と、福島県の会津若松駅を結ぶ約 135km の 長大ローカル線です。只見川の水力発電所の建設 資材を運搬する目的も兼ねて建設が進められ、 1971 年に全通しました。沿線は過疎地域で全線 を通して走る列車はわずか3往復しかなく、最も 運行本数が多い会津坂下(あいづばんげ)から会 津若松の間でも7往復しか列車がありません。秋 の紅葉シーズンは乗客が増え混雑するようです が、普段の利用者は少なく赤字の状態が続いてい ました。新潟・福島県境は豪雪地帯で冬は車での 行き来ができないため、これまで存続してきた経 緯がありましたが、2011年夏の豪雨で大きな被害 を受け、JR 東日本は単独での復旧が難しいとし て、3か所で鉄橋が流された只見駅から会津川口 駅の間、約27kmの区間で不通が続きました。一 方で復旧を望む声も強く、福島県と沿線の市町村 が鉄道施設を JR 東日本から譲り受けて維持管理 を行うことで JR の負担を軽減するとともに、復 旧費用の一部も国や自治体が支出し、2022年10 月、ようやく 11 年ぶりに全線復旧にこぎつけま



新潟・福島県境の 車窓。川沿いの道 路の物々しい雪覆 いを見ると、豪雪 地帯であることを 実感します。



小出駅から2時間 余りで会津川口駅 に到着。写真の左 側には線路に沿っ て真っ青な只見川 が流れています。

した。新潟県側の小出駅は、高崎と新潟県の長岡 を結ぶ上越線から只見線が分かれる小さな駅で す。2両編成のディーゼルカーは発車すると、コ シヒカリで有名な魚沼の平野部を走りますが、列 車の前方には雪をかぶった県境の山々がそびえ ています。列車は徐々に山間部へ入り、新潟県最 後の駅、大白川を出ると峠越えにかかります。大 白川駅から次の只見駅までは約21kmの距離があ り、30分近くかかります。雪崩除けのシェルター が連続する中、峠を上り長いトンネルに入ると途 中で下り坂へ変わり、エンジンの騒音が止みます。 福島県に入り軽やかにトンネルを抜けると右手 に田子倉ダムの湖が見え、車窓が開けると只見駅 へ到着します。ここから先は只見川に沿って線路 は細かくカーブを繰り返し、時折、鉄橋で川を渡 ります。本名ダムの堰堤を左手に見ながら、豪雨 で流されたため架け替えられた真新しい鉄橋「第 六只見川橋梁」を渡ると程なく会津川口駅で、列 車の行き違いのためしばらく停車します。ここま で2時間余りボックス席に座ってきたのでホーム へ降りて体を伸ばし、線路のすぐ横を流れる只見 川の鏡のような水面を眺めていると、時が過ぎる のを忘れます。定刻に列車はエンジンを吹かして 出発し、川沿いをゆっくりと走ります。川から離 れて平野部に出ると、会津坂下駅です。ここから 先は会津若松の郊外といった趣で、夕日を浴びた 磐梯山を遠くに眺めながら列車は快走します。小 出駅から4時間余り、様々に変化する川や農村の 風景に飽きることなく会津若松へ着きました。

沿線の熱い期待を背負って復旧した只見線、厳 しい状況は続きますが観光資源としてうまく活 用して、いつまでも只見川に沿ってのんびりと列 車が走ることを願っています。



会津坂下を過ぎ平 野部を走るように なると磐梯山が見 え、会津に来たこ とを実感します。



暑れなずむ会津若 松駅へ到着。駅の 近くで食べた喜多 方ラーメン(喜多 方は会津若松の隣 町)は絶品でした。